



とねしょうかわらばん

がつ にちほん
9月8日版



3年生は理科で音の伝わり方の実験・観察をしていました。実際に太鼓の上にビーズを載せて太鼓をたたき、音が鳴るとどのようにビーズが動くかを調べていました。小さな音と大きな音とでは、ビーズの動きに大きな変化があり、どの子も目をかがやかせていました。



6年生の図工では、墨と小筆を使って、墨絵に挑戦していました。見本の様々な動物の絵を一生懸命眺めて、墨の濃淡や線の太さをうまく調整しながら描いていました。どの作品も思わず「うーん」とうなってしまう出来栄でした。



また、家庭科でミシンを活用した実習を始めています。ミシン縫いは簡単に見えて、下系と上系をうまく合わせることが大変難しく、どの子も苦労している様子でした。ひとりひとりが様々な思いを形に表し、生活に役立つ布製品を作成しています。自分が苦労して作り上げた「生活に役立つもの」は、きっと大切に使うことができることでしょう。出来上がりが楽しみです。



2年生では、赤・青・黄の三原色を使って、いろいろな色の飴玉を描いていました。たった3色からたくさん色が生み出され、誰一人として同じ色の飴玉はなく、どの飴玉もとてもおいしそうでした。本当にこのような飴玉があったら子どもたちはとても喜ぶことでしょう。